

マイマイガが多く発生しています！

◆マイマイガとは

全国に分布し、幼虫は木の葉を食べる森林害虫。約10年周期で大量発生し、2～3年継続する傾向があるとされる蛾（が）。成虫は体長2～5センチで、雌は淡い黄白色や灰色、雄は灰色から茶色。成虫の生存日数は平均6～10日。



オスの成虫

◆人体への影響

皮膚の弱い人や幼児などが、ふ化したばかりの幼虫（毛虫）に触れて体毛が刺さると、痛みが出たり、かぶれることがあります。例年7月初旬には成虫になりますが、成虫の羽にあるりん粉が肌につくと、人によっては発疹の出る場合があります。



メスの成虫（産卵直後）

毛虫や成虫には直接触れないように注意しましょう。

◆対応方法

◎ 8月頃から翌年4月頃のうちに卵の塊を取り除くことが、翌年の発生を抑えるためには効果的です。



卵塊

底部を切り取った角型ペットボトルや硬いプラスチック製のヘラを使い、卵塊をそぎ落とします。そぎ落とした卵塊は、まとめて燃えるごみとして処理してください。

◎成虫の殺虫には、家庭用の殺虫剤が有効です。

殺虫した蛾は一度ポリ袋などに入れ袋の口を縛り、燃えるごみに出してください。

* どちらの作業も、手袋やマスク、ゴーグル等をつけて実施してください。

来年の発生抑制のために、各ご家庭や事業所の皆さまのご協力をお願いします。